

アンカー施工・コンクリート強度等

各種試験・検査のご案内

アンカー引張試験

鉄筋探査

その他調査

工事の要、貫く力



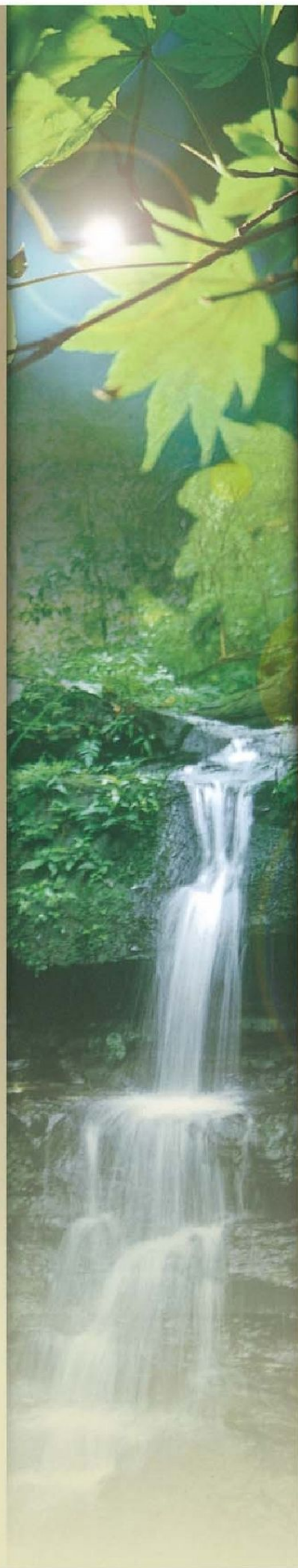
あと施工アンカー工事施工・販売
ダイヤモンド工事施工・工具販売



中央総業株式会社

国土交通大臣許可(特-17)第14969号
<http://www.mmjp.or.jp/chuo-sogyo/>

お問い合わせは、TEL **0120-07-1222** FAX **0120-07-5585** まで



信頼される証、 年間実績アンカー**300**件、鉄筋**200**件。

建物・施設の調査・検査は、ぜひ当社にお任せください。

アンカー引張試験

引張試験(引抜試験)について

アンカー施工後に行われる施工確認試験のことです。

引張試験機によって引張試験を行います。大きく2種類に分かれます。

年間
300件

1 非破壊試験

非破壊検査は、設計荷重あるいは設定荷重以下での加力を行います。アンカーやコンクリートには損傷を与えません。試験後、アンカーはそのまま実用で使います。JCAA(日本建築あと施工アンカー協会)のあと施工アンカー現場試験方法では、全施工本数の0.5%、または各径ごとの施工本数を1ロットとし、この中の3本に行います。

2 破壊試験

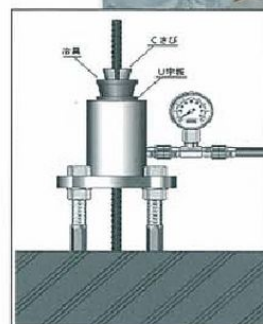
破壊試験は、アンカー筋あるいはコンクリートが破壊されるまで行います。実用で使うアンカーを試験する時には、試験終了後の対策を考えておく必要があります。

国土交通省の「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針」によると、引張試験(引抜試験)は、JCAAの第1種あと施工アンカー施工士、またはあと施工アンカー工事共同組合のあと施工アンカー施工技術士以上の資格を持つアンカー施工業者が行う管理区分に指定されています。ですから、無資格の者が行うことは推奨されていません。

弊社では、有資格者をこれまで400名以上育成。引張試験を年間300件以上実施しています。



試験風景



試験装置



私たちは、創業以来20年にわたり、あと施工アンカー工事・販売、ダイヤモンド工事・工具販売とともに、アンカー施工・コンクリート強度等の各種試験・検査を行っています。

アンカー引張試験は年間300件、鉄筋探査は年間200件以上を実施。
高いご評価をいただいている調査・検査には、この経験が活かされています。

鉄筋探査

鉄筋探査について

コンクリート建造物の修繕・改築・保守・耐震補強等の工事で、鉄筋等の切断事故を未然に防ぐことを目的に、コンクリート構造物内の配置状況を確認するために行われるものが鉄筋探査です。大きく2種類に分かれます。

年間
200件

1 電磁波誘導法

電磁誘導装置の励磁コイルに交流電流を流すことで発生する磁界内に試験対象物を配置し、探査を行う方法です。この方法で、配筋状況、鉄筋径、かぶり厚の計測が可能です。

2 電磁波レーダ法

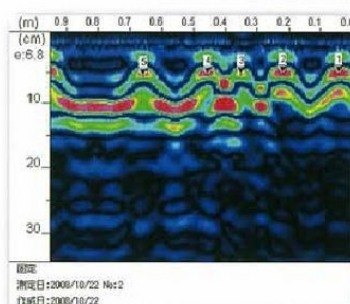
RCLレーダを使用して、マイクロ波帯の電磁波をコンクリート内部に向けて連続放射し、対象物(鉄筋等)からの反射を利用して対象物の位置や深さを検知する方法です。鉄筋等の位置や深さの計測が可能です。

なお平成18年度より、国土交通省は新設橋梁に対して、コンクリート施工後の鉄筋探査およびテストハンマーによる品質管理を義務づけました。一般的な工事においても、自主検査として鉄筋探査が広く行われています。今後もこの傾向は増大していくものと考えられます。

当社はこの状況に対応するため、協力関係にあるゼネコンの技術研究所の協力により自社認定資格制度を制定。資格保持者による鉄筋探査を、年間200件以上実施しています。



電磁波レーダ
鉄筋探査



測定画像

測定日:2008/10/22 No:2
作成日:2008/10/22



アンカー・ダイヤのプロだからできること。

建物・施設に関するお悩みはぜひ当社へ。

その他調査 各種試験・検査を承ります。

1

超音波探傷探査について

各種構造物の版厚の測定、空洞の検出、かぶり厚さの測定、鉄筋配置の測定等を、簡便に非破壊で行える超音波検査法です。対象構造物に超音波を放射し、反射してきた音波の波形で構造物内部の亀裂の有無や状態、深さを調査・測定します。当社ではアンカーボルトの長さ測定に利用しています。

2

コンクリート強度調査

(シュミットハンマー法)について

コンクリートの反発硬度からコンクリート強度を測定する方法です。具体的には、コンクリートに打撃を加え、返ってきた衝撃の反射の強さでコンクリート強度を測定する方法です。コンクリートを破壊しない強度測定により、コンクリートの経年変化を調査できますので、品質管理に役立てることができます。

3

コンクリート劣化試験

(中性化試験)について

コンクリートから円柱状のコアを採取して、フェノールフタレイン溶液でpHを測定する調査です。通常はテストピース採取時に行います。当社では独自の技術で、躯体にダメージを与えるコア採取だけでなく、小径ドリルを使用する微破壊での簡易中性化試験も行っています。コンクリートは打設時にはアルカリ性ですが、年月とともに中性化が進み、鉄筋の腐食を促進させます。中性化の進行度を知るためにコンクリート劣化試験(中性化試験)が必要になります。

4

レントゲン探査について

医療用に使用されるレントゲン撮影と原理は同じです。X線発生装置からX線を照射し、コンクリート壁裏側に貼り付けたフィルムに内部の様子を映し出します。フィルムを現像することで、コンクリート内部の鉄筋や電線管の状況を視認できます。

お問い合わせは、



0120-07-1222



0120-07-5585 まで



中央総業株式会社

〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町9-7-12
TEL 042-765-6611 FAX 042-765-6622
<http://www.mmjp.or.jp/chuo-sogyo/>